

平成18年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	看護専門学校	内線等	8006
----	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	教材備品整備事業				
根拠法令等	保健師助産師看護師学校養成所指定規則、 蒲郡市立ソフィア看護専門学校の設置及び 管理に関する条例		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	看護専門学校学生に対して
手 段	図書室、情報科学室及び校内実習設備を充実させることにより
想定する成果	看護に必要な専門の知識及び技術を習得し、教育理念に掲げる「叡智」と「広い見識」の達成を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
図書室蔵書数	7,507冊	7,847冊	8,048冊
貸出冊数	1,700冊	1,656冊	1,700冊
教材備品数	726点	728点	729点

成果指標

成果指標名	蔵書回転率	教材備品増加率
成果指標の説明	総貸出数 / 蔵書数 × 100	当該年度備品数 / 前年度備品数 × 100

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			21.1%
	実績	22.7%	21.1%	
成果指標	計画			100.1%
	実績	100.3%	100.3%	
事業費	事業費	3,503	3,550	3,530
	人件費	8,848	7,006	7,889
	(人数)	1.1	0.9	1.0
	合計	12,351	10,556	11,419
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	3,503	3,550	3,530
	一般財源	8,848	7,006	7,889

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	3	2	2	新刊図書や学術雑誌の購入、図書検索システムの構築など、高度化する医療の最新情報を収集できる環境を整備し、必要な看護演習用備品を整備しているが、更新すべき備品もあり満足できる整備とはなっていない。
経済効率性	3	3	3	2	代替できる一般図書は市立図書館から貸出を受け、購入が必要な専門図書の充実を図っている。また、図書室を卒業生や実習病院等の医療従事者に開放している。
事務効率性	3	3	3	3	図書情報の電算化により、図書の検索・貸出事務の効率化を図る。
必要性	-	3	-	2	教材備品の整備は、医療の高度化による最新医療・看護学を学ぶためには必要不可欠である。
小計	8	12	8	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	情報資料による事前学習、看護演習用備品を使った実技学習など、医療技術の習得に高い役割を果たしている。
合計	11	12	11	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	B	B	学生・教員が医療看護情報を収集できる環境(図書・学術雑誌の購入、図書の検索・貸出業務の電算化)の構築と、必要な看護演習用備品の整備がなされているが、更新すべき備品もある。
------	---	---	---	---	---------------------------------------------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
新刊図書や学術雑誌情報を電算化し、検索などにおける利便性の向上を図る。 授業や自己学習の円滑化を図るため、平成16年度に情報科学室に設置のパソコンを20台から40台に増やした。 その際に併せてリース料の見直しを行った。	パソコンリース料 平成15年度 4,282,740円 平成17年度 1,942,272円 縮減額 2,340,468円

今後改善すべき点

利便性の向上のため図書情報の電算化を推進してきたが、データベースが肥大化してきている。管理ソフトの更新、災害時におけるデータの保護装置の導入などが今後の課題となっている。 平成21年4月からのカリキュラム変更を控えており、実施されるとフィジカルアセスメント技能の向上のために様々な症状や徴候を再現するシミュレーター等や、各種看護技術を実際に近い状態で適用できるようにするために、臨床場面を類似体験できるような用具等が高価ではあるが整備が必要となる。また、授業科目が増加することにより、その専門分野に関わる図書の整備も必要となる。

平成20年度予算に反映する項目

平成21年度から実施予定の看護教育における新カリキュラム対応のため、指導要領に基づく新たな看護演習用備品の購入が必要となる。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】